

工事現場見学会「真狩地区」開催

9月5日(木)後志中部農業開発事業所では、真狩村で真狩高校の3年生23名を対象に工事現場見学会を開催しました。

これは農業に関する基礎学力と規範意識を持った優れた産業人の育成を支援するため、小樽開発建設部と真狩高校において平成20年度からパートナーシップ協定を締結しており、今回はその取り組みの一環として実施されたものです。



工事施工後(5ha)のほ場を見学



スクレーパーの運転席に興味深く見学する生徒。道内にある約20台のスクレーパーのうち10台以上が当該工事で活躍中。

スクレーパー

掘削・積込・運搬の一連の土工作业サイクルを1台で行える建設機械。接地圧が低く、シャトル運転で足場を乱さないことから、軟弱地走行に優れている。



スクレーパーが稼働している工事現場を見学



事業概要を説明する当部職員